

今回のおはなし



「メニエール病」



「かみたばこ」、「かぎたばこ」



めまい、難聴起こるメニエール病

メニエール病とは

ストレスや過労などが原因で内耳にリンパ液がたまり、めまいや難聴、耳鳴りが起こる病気。国内患者数は5万人前後。たまったリンパ液を空気圧で押し出す治療「中耳加圧療法」は手術よりも体の負担が小さい

発症の仕組み

内部を満たすリンパ液が増えすぎて水ぶくれ状態になり、内耳がうまく動かなくなる

音を脳に伝える役割と体の平衡感覚を保つ働きがある

正常

異常

ストレスや過労など

症状や特徴

目が回るようなめまい(10分程度～数時間)、難聴、吐き気、嘔吐、耳の閉塞感

週数回～年数回で繰り返す。個人差がある

主な検査

聴力検査	長引くめまいや繰り返す再発は聴力低下につながる。定期的にチェックする
眼振検査	眼球の揺れを調べる
MRI検査	内耳の腫れを検査する

治療の流れ

※基本治療から手術に進むケースもある

基本治療

- 生活指導(十分な睡眠、適度な運動、ストレス改善など)
- 薬物療法(抗めまい薬、利尿剤など)

効果がない場合

中耳加圧療法

耳鼻咽喉科で借りた医療機器を使って、1日2回、3分ほど、空気圧を鼓膜にかけて内耳にたまったリンパ液を押し出す

効果がない場合や進行した場合

手術

たまったリンパ液の排出路を作る/めまいを感じる神経を壊す

デザイン: 藤元社美

耳には、音を聞き取る以外に、体の平衡感覚を保つ働きもあります。ストレスや過労が原因でこの両方に支障が生じ、立ってられないようなめまいと難聴が起こる病気が「メニエール病」です。初期のめまいは、寝ているしかできないほど重いケースが多いです。繰り返すうちに症状が軽くなる人もいますが、慢性期になると、発作が出ていない時もふらついたり、耳鳴りや難聴が出たりします。再発しやすいのが特徴で、再発を繰り返す内に進行し、聴力の低下を招きます。初めは低い音が聞こえにくくなり、慢性化すると高い音も聞きづらくなります。

似た病気に突発性難聴がありますが、めまいや難聴を繰り返すことはありません。この2つの病気を見分けるには、早期に正確な診断を行うことが必要です。

治療は、まず体への負担が小さい方法を試します。十分な睡眠や適度な有酸素運動を心掛け、生活習慣を見直します。日頃から、ストレスや疲れがたまりにくい生活をするのは、予防の面からも大切です。また、めまいや内耳の腫れを抑えるため、抗めまい薬や利尿剤などを投与します。それでも改善しない場合の治療法として、2018年9月に公的医療保険の対象になった「中耳加圧療法」があります。

メニエール病を発症する高齢者は、近年増加傾向にあります。気になる症状がある人は、日本めまい平衡医学会のウェブサイトにある、めまい相談医のリスト

(<https://www.memai.jp/list/>)を見てください。

ガ・タバコ

周囲の非喫煙者への健康影響について

たばこの煙による健康への悪影響は喫煙者本人にとどまりません。他人のたばこの煙を吸わされる受動喫煙についての健康影響は、流涙、頭痛などの症状だけでなく、肺がんや虚血性心疾患等の疾患の死亡率等が上昇したり、非喫煙妊婦でも低出生体重児の出産の発生率が上昇するといった研究結果が近年多く報告されています。小児では喘息、気管支炎といった呼吸器疾患等と関連があると報告されています。また、乳児では乳幼児突然死候群と関連があると報告されています。

◆受動喫煙(他人のたばこの煙を吸わされること)と個別疾病との相対危険度(非喫煙者を1とした時の喫煙者の危険度)

個別疾病の相対危険度	相対危険度
肺がん死亡数(US-EPA 報告 1998)	1.19
虚血性心疾患死亡数(Heらによる調査 1999)	1.25



花粉症の方へ 早めの対策することが大切です。

お気軽に薬剤師にご相談下さい。遠慮なくご連絡下さい。

(一社) 浦安市薬剤師会

〒279-0004 浦安市猫実1-2-5 健康センター内

Tel 047-355-6812 (月～金: 10～15時)

Fax 047-355-6810

メールアドレス yaku_ura_t@urayaku.jp

ホームページ <https://www.urayaku.jp/>